

項目	内容
名称	メチオニン [英]Methionine (Met) [学名]
概要	メチオニンは、含硫アミノ酸の1つで、タンパク質中での含有量は少ないが、生体内ではメチル基供与体として重要な役割を担う必須アミノ酸である。脂質代謝に関与し肝機能の維持に重要である。
法規・制度	■食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 ■日本薬局方 ・L-メチオニンが記載されている。 ■食品添加物 ・指定添加物 DL-メチオニン：調味料、強化剤 L-メチオニン：調味料、強化剤
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・略号MetまたはM、 $C_5H_{11}NO_2S$ 、分子量(MW)149.21。含硫アミノ酸の一つ(16)。
分析法	・イオン交換クロマトグラフィーにて分離後、ニンヒドリンなどの発色試薬で発色し蛍光検出器 (励起波長440 nm、蛍光波長570 nm) を装着したアミノ酸自動分析計により分析する方法が一般的である (101)。

有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (16) 生化学辞典 第3版 東京化学同人
- (25) クリニカル・エビデンス ISSUE9 日本語版 日経BP社 日本クリニカル・エビデンス編集委員会
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
- (101) 衛生試験法・注解 2020 金原出版株式会社 日本薬学会編
- [\(PMID:8970184\) Nutr Cancer. 1997;27\(1\):65-8.](#)
- [\(PMID:14613786\) Comp Biochem Physiol A Mol Integr Physiol. 2003 Nov;136\(3\):577-89.](#)
- [\(PMID:7469632\) Arch Intern Med. 1981 Feb 23;141\(3 Spec No\):394-6.](#)
- [\(PMID:11164122\) Ann Epidemiol. 2001 Jan;11\(1\):65-72.](#)
- [\(PMID:11895870\) Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2002 Mar;11\(3\):227-34.](#)
- [\(PMID:8017644\) Anesthesiology. 1994 May;80\(5\):1046-56.](#)
- [\(PMID:11837558\) Pharmacotherapy. 2002 Feb;22\(2\):188-211.](#)
- [\(PMID:12395329\) Hepatology. 2002 Nov;36\(5\):1190-6.](#)
- [\(PMID:12067919\) Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2002 Jun 1;22\(6\):1046-50.](#)
- [\(PMID:9799203\) Circulation. 1998 Nov 3;98\(18\):1848-52.](#)
- [\(PMID:9526959\) Thromb Res. 1997 Nov 15;88\(4\):361-4.](#)
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
- (2012221158) 市立豊中病院医学雑誌. 2012;12:71-4.